

マガン（カモ科） 全長72センチ

3月28日、神宮寺の大浦沼にマガンが降り立ちました。その数50羽。

沼には1週間前からコハクチョウ約100羽が飛来していたので、マガンも加わったのでしょう。

例年、大浦沼とその周辺に飛来する冬鳥のカモ類は、春分の日がピークでした。マガモやオナガガモ、ハクチョウなどで、3月21日前後が賑わいを見せる季節です。

マガンは飛来しても2～3羽程度で、その日のうちに飛び去ってしまうことが殆どです。その後4月3日には60羽を数え、5日の最終日には120羽に増えました。これで滞在期間が連続9日間となりました。



コハクチョウを横目にスイスイ。

私の記録では、4月に入ってから観察されたのは初めてです。

今年は例外的な暖冬であることから、渡り鳥も早く移動するものと思っていたので全く想定外です。なぜこんなに遅くまでいたのか理由は分かりませんが、コハクチョウは4月8日には100羽もいたことから、マガンも安心して過ごしたのでしょう。



マガンとハクチョウは絵になります。



田んぼで食事後、農道に上がって来た。

国の天然記念物に指定されるマガンが身近に見られる大浦沼。大切な自然環境を、いつまでも守っていかねばと強く感じました。



奥羽山脈を背景に飛ぶ。



橋の上を車が通っても警戒心はありません。